

飾り方から見る雛選び

ひな人形

チェック・アップ

注目のポイント

70cm幅の3タイプを同じ場所で飾って、比較しました。

平台飾り

台のサイズで全てが決まる

毛氈飾り

緋毛氈敷きの伝統的飾り

収納飾り

収納箱のインテリア性も大切

同じ場所に飾って比較



間口 70 × 奥行 35 × 高さ 35 (cm)



間口 70 × 奥行 35 × 高さ 36 (cm)



間口 70 × 奥行 40 × 高さ 63 (cm)

お片付けスペース



間口 44 × 奥行 38 × 高さ 75 (cm)

人形と台の箱が大きく
付属品は小振りなものになります



間口 43 × 奥行 32 × 高さ 55 (cm)

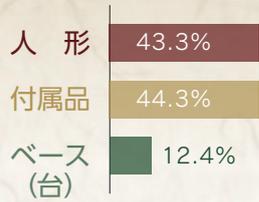
毛氈は折りたたむだけ
取扱いはシンプルです



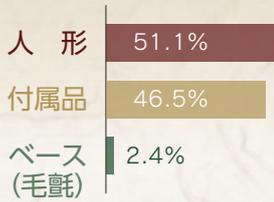
間口 76 × 奥行 48 × 高さ 38 (cm)

収納性は高いが少し大きく重くなる

価格構成



ベース(平台)に全てをまとめて飾る台とのバランス重視



人形中心で付属品にも一定の配慮をするオーソドックスな飾り



ベース(箱)のウェイトが大きくなるので、その意匠も大切

まとまり感

台とのまとまり感がより大切

屏風の左右の袖が全体を引き締めます
雪洞・花などの付属品は少々小さめ

伝統的

緋毛氈は雛飾りの基本

ベースが毛氈なのでスペースに合わせて飾ることができるフレキシブルタイプ
官女などを増やす楽しみもあります

インテリア性

収納箱が飾り・価格の両面で大きいウェイト

収納箱に重厚感があり
その機能性と意匠などのバランスが大切

注目のポイント



飾り方のタイプは違っても、人形や付属品はそれぞれ別々の箱に入れて片づけます。(全タイプ共通)